

復興元年 東北の産業界は“今”



東北復興特集2012



東日本大震災からの復旧・復興が加速してきた。津波で甚大な被害を受けた沿岸部では散乱したがれきの撤去はほぼ完了し、焼却処理も始まった。自力で再建し、操業した企業や、政府の補助制度を使い復旧に向道のりは遠い。被災地はゆっくりだが、しっかりと前に向かって歩み始めている。

上：本格稼働を開始した石巻地区のがれき処理場
右：魚市場2階にあった食堂は仮設店舗で営業再開
左：被災したエステー（石巻市）は現地で操業を始めた



復興に向けた“火”がともった。東日本大震災で被災した宮城県石巻市、東松島市、女川町のがれきを処理する焼却炉「ロータリーキルン1号機」が5月15日に稼働した。全5基で、残りの4基は8月までにすべて稼働する計画だ。石巻1号機で発生したがれき量は約846万トンで、震災で最も多くのがれきが発生した。復旧復興の妨げているがれき処理が、よいよ進む。

細野豪志環境相は「ここで焼却するがれきには犠牲者と被災者の思い出が詰まっています」と鎮魂の思いを込めて処理してほしい」と激しいを計画しており、5基すべて稼働すれば日量1500トンの処理が可能だ。

石巻市の住民からは「1秒でも早く、がれきのない景色を見たい」「がれきの焼却処分が進んでようやく復興への歩みが始まると」との声も上がっている。

環境省の「沿岸市町村の災害廃棄物処理の進捗状況」によると、5月31日時点でのがれきの3県合計は1879万9000トンで、岩手が5255トン、宮城が1153万7000トン、福島が201万1000トンだ。

仮置き場への搬入率は全体で82%、個別では岩手が80%、宮城が85%、福島が62%。処理処分率では岩手が12.1%、宮城が20.5%、福島が10.0%だ。福島県の遅れは放射性物質で汚染されたがれきが多く、さらに政府が東京電力福島第一原子力発電所の事故を受けて設定した警戒区域内での作業が滞ったためだ。

この地で踏み張りながら仕事を再建も始まった。福島県南相馬市の精密機械加工メーカーの社長は、「この恩を仕事を通じて返していく」と意気込む。震災は地域ごとにさまざまな課題や困難を突きつけていた。被災地は障壁を乗り越えながら、復興に向かって走り続けている。

がれきの処理が進む中、企業の再建も始まった。福島県南相馬市はこの恩を仕事を通じて受けた。この恩を仕事を通じて返していく」と意気込む。震災は地域ごとにさまざまな課題や困難を突きつけていた。被災地は障壁を乗り越えながら、復興に向

半導体製造装置・自動車部品・繊維機械部品
一般産業用機械精密部品の製造



株式会社 伊藤製作所

代表取締役社長 伊藤 明彦

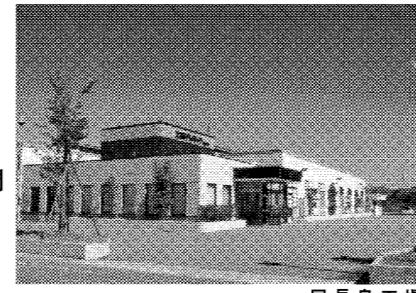
本社・工場
〒990-2445 山形市南栄町一丁目5番16号
電話 023-642-0255
FAX 023-641-6996

エレクトロニクス・自動車分野を支える表面処理技術
確かな表面処理技術で環境に貢献

私達はナノレベルの表面処理技術開発により、先端技術開発と地球環境の保全を行ないます。



事業部門
■電子部品めっき部門
■自動車部品めっき・化成処理部門
■塗装部門



スズキハイテック株式会社

本社・工場/〒990-0051 山形市鏡町2-2-30 TEL.023(631)4703
尾長島工場/〒999-0213 川西町大字尾長島740-12 TEL.023(54)3615

GET good Future with CS



お客様とともに未来を築く

半世紀以上の歴史の中で培われた超精密微細加工技術に加え、ハード・ソフト双方の最先端技術を蓄積。国内事業所と海外事業所のシナジー効果を高め、「エンジニアリング」と「グローバリゼーション」をキーワードに品質と防災の徹底により、安全と安心を添えたMTEXブランドを世界に向けて発信し、未来を見据えたワールドワイドな事業展開を図ります。

エムテックスマツムラ株式会社

●本社・天童事業所
〒994-8501 山形県天童市北久野1-7-43 TEL023-654-3211㈹ FAX023-654-9088
●尾花沢事業所
〒999-4231 山形県尾花沢市北町2-2-2 TEL0237-22-1151㈹ FAX0237-22-1150
●福岡営業所
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-9-17 福岡天神フコク生命ビル15F
TEL092-717-3923

(関連会社) 株新庄エレメックス/エムソフト(株)
MTEX(VIETNAM) CO.,LTD